



# いわいずみ



**中小企業・小規模企業の  
持続的な発展へ** ..... 2

**低所得者と子育て世帯を対象  
プレミアム付き商品券を販売** ..... 4

**町の考えを問う (7議員が一般質問)** ..... 6

**どうなりやんした...あの提言** ..... 15

シートで

## 大家族 ⑬

岩泉の工藤晃さん・盛山和幸さん7人家族です。去年、娘さん夫婦が帰ってきて大家族となりました。5月には令和生まれの孫も誕生し、ますますにぎやかです。これからの成長が楽しみです。

## 放課後児童クラブ施設改修工事

小川放課後児童クラブにエアコンと転落防止柵などを整備



130万円



## スマート共同放牧場実践支援事業

無線ラジコントラクターを使用したモデル実証に支援



50万円



## イースタン・リーグ公式戦開催事業

8月12日(月)に楽天対巨人の試合を岩泉球場で開催

524万円

# 主な事業を pickup

6月定例会で可決された主な補正予算事業を紹介します。



2416万円

次は、条例補正予算審査特別委員会

いろいろな取り組みを行っている  
うれい商店会の皆さん



# 中小企業・小規模企業の 持続的な発展へ

基本理念条例  
を可決

### 中小企業・小規模企業振興条例とは？

中小企業・小規模企業の振興に関し、町が基本理念を定め、中小企業などの持続的な発展と地域経済の活性化を図ることが目的の条例です。

#### ◆本町の中小企業の状況は？

町内の商工業者395のうち小規模事業者は347と全体の約9割を占めています。町の経済や雇用を支える重要な役割を担っていますが、高齢化や後継者不足が深刻化しています。

#### ◆なぜ条例が必要なの？

多様化する経済社会の中で、中小企業や小規模企業の自助努力だけでは克服できない状況があります。地域経済を構成する関係者の連携・共同した取り組みが必要だからです。

#### ◆他の自治体は？

県内では、一関市、北上市、宮古市、岩手町が条例を制定済みです。本町は5例目となります。

令和元年第2回定例会は、6月5日から7日までの3日間の会期で開かれました。  
一般質問には、7人の議員が登壇し、災害からの復旧復興や子育て支援、観光振興など町政全般にわたり議論を展開しました。  
中小企業と小規模企業の振興に関し、町が基本理念を定める「中小企業・小規模企業振興条例」の制定のほか、4つの条例の一部改正。一般会計と4特別会計の補正予算など15議案が提案され、全会一致で可決しました。

6月定例会のあらまし

### ～その他の条例改正～

#### \*災害甲助金の支給等に関する条例の一部改正

災害援護資金(※)を借りる場合に、保証人を立てることが必須要件ではなくなりました。利率は、保証人を立てる場合は無利子で、保証人を立てない場合は「年3%」から「年1.5%」に改正されました。償還期間は、年賦償還のほか、半年償還か月賦償還を選択できるようになりました。この改正は、平成31年4月1日以後に生じた災害により被害を受けた世帯主から適用されます。

#### \*介護保険条例の一部改正

\*過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

\*復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

### 6月補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1億5470万円	110億8470万円
特別会計		
介護保険	40万円	15億5630万円
簡易水道	9830万円	6億5780万円
観光事業	442万円	2億1172万円
公共下水道	10万円	1億8210万円

(※) 災害救助法が適用された災害で、負傷か住宅や家財に被害を受けた人のうち、所得金額が一定の範囲内の人に資金を貸し付ける制度

**農 業** スマート共同放牧場の内容は  
ラジコントラクターを用いる

**問** スマート共同放牧場実践支援事業の内容は。

**答** 大川肉牛生産組合が管理する、急傾斜地が多い駒ヶ沢牧野で、無線ラジコントラクター(※)を用いて草地更新や肥料散布を実施する。管理労力削減を目指すためのモデル検証の実施に支援する。

**問** 他の組合では実施しないのか。

**答** 3年間の事業である。他の組合にも働きかける。

(※)無線で操作ができるトラクター



これまで草地更新ができなかった急傾斜地で実践作業を行います。今後の労力削減につながればと期待しています。



佐藤 安美さん  
大川 (57歳)

**水 道** 大牛内地区配水管更新事業とは  
老朽化した組合水道を更新する

**問** 大牛内地区配水管更新事業補助金の内容は。

**答** 老朽化した組合水道施設を更新するための補助金である。

**問** 大牛内地区の農業を積極的に展開する上で、現在の水量で大丈夫か。

**答** 整備当時の状況から比べると、営農している件数、家畜の数は減少傾向である。それらを考慮すると現状の水量で十分足りる。



酪農振興にも水は不可欠

**ス ポ ー ツ** 岩泉球場改修工事の内容は  
イースタン・リーグを開催

**問** 岩泉球場改修工事の内容は。

**答** 8月12日にイースタン・リーグ公式戦「楽天対巨人」を岩泉球場で開催する。道の駅の建物防御のため、ライト側にネットを設置する。もう一つは、配水管の切り替え工事である。

**問** 入場料はいくらか。

**答** メインスタンド、内野席、外野席に分けて料金を設定する。児童生徒への無料招待券配布などを含め主催者の楽天と検討する。

**問** 前売り券はどこで購入できるか。

**答** 町民会館、各支所、B&G海洋センター、道の駅いわいずみ、コンビニなどを想定している。

**経 済** 中小企業振興条例の具体策は  
関係者と協議し対応していく

**問** 中小企業・小規模企業振興条例で掲げる基本的施策の具体策は。

**答** 小規模企業者などの関係者と協議し対応していく。

**問** 振興計画の策定時期は。

**答** 町の総合計画との整合性をとり、商工会の計画に配慮しながら進めていく。

**問** 金融機関とも協議をしたのか。

**答** 県の条例が先に制定されている。協議しながら進める。



この条例は、経営者にとって事業承継や商品開発、情報発信などの課題解決を後押ししてくれると思います。



熊谷 浩さん  
岩泉 (57歳)

**商 品 券** 対象者への周知方法は  
個別に文書を送付する

**問** 10月の消費税引き上げが見送りになった場合でもこの事業は行うのか。

**答** 消費税法に基づいて準備を進めている。国の情報をもとに適切に対応していく。

**問** 商品券の取扱店舗はどのように選定するのか。

**答** 国の補助要件が「幅広く公募すること」となっている。町内の小規模商店の他、大規模店の参入も想定される。



佐々木 滋子さん  
岩泉 (35歳)



わあ、本当ですか。すごくうれしいです。早速、お友達にも教えます。うちは子どもが2人いるので、とても助かります。



消費税引き上げの影響を緩和

低所得者と子育て世帯を対象  
プレミアム付き商品券を販売

条例補正予算審査特別委員会(畠山直人委員長)は、6月7日に開かれ、付託された条例5件と補正予算5件を慎重に審査しました。その結果、付託された議案全てを原案のとおり可決すべきものと決定。同日の本会議において全会一致で可決しました。ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの質疑を要約してお伝えします。

**問** 委託先と対象者への周知方法は。

**答** 商品券の印刷、販売、換金などを含めて岩泉商工会を考えている。対象者へは、個別に文書を送付する。

プレミアム付き商品券の概要

- ◆購入できる人
  - \*令和元年度の住民税が非課税の世帯
  - \*平成28年4月2日から令和元年9月30日までに生まれた子どもがいる世帯主
- ◆購入限度額
  - 販売額2万円で額面2万5千円(子どもがいる世帯は、対象となる年齢の子どもの数まで購入可能)
- ◆販売期間
  - 令和元年10月1日～12月27日
- ◆使用可能期間
  - 令和元年10月1日～令和2年1月31日





問 来年3月に小川小学校が閉校する。閉校後の利活用として、地域住民交流施設やスポーツジム、中庭を公園、校庭をヘリポートやサッカーグラウンドなどの複合施設

## 閉校後は複合施設として整備を

富山昌典 議員

## 地域の意見を聴き検討を進める

中居町長

として整備する考えはないか。



惜しまれながら本年度で閉校になる小川小学校

町長 児童数の減少に伴い「学校適正配置基本計画」に基づき学校統合を進めている。来春、閉校予定である小川小学校校舎の利活用は、提言のあった多目的交流施設としての活用も含め、地域の

皆様からの利用希望や提案などを広く受け入れる。学校は、地域のシンボリック存在として長く愛されてきた。国道455号沿いである特長を最大限に生かし、地域コミュニティの中心となり得る施設となるよう、十分な検討を進めていく。

# 町の考えを問う

## 一般質問 7人の議員が登壇

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。あるいは報告や説明を求めることです。

6月定例会では7人の議員が登壇し、町政課題への提言や質疑を行いました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容(7頁から13頁)を登壇順(質問順)にお知らせします。

**富山昌典** 議員 (7頁)  
閉校後は複合施設として整備を  
歴史民俗資料館の移設を

**富山和英** 議員 (8頁)  
ミート工房の再建整備を  
早急に土砂災害防止対策を

**合砂丈司** 議員 (9頁)  
飲料水個人施設補助の見直しを

**三田地久志** 議員 (10頁)  
キクイモで健康増進を

**林崎 竟次郎** 議員 (11頁)  
就学援助の認定基準見直しを  
子育て支援の課題は

**坂本 昇** 議員 (12頁)  
放課後児童クラブの環境改善を  
総合相談窓口の設置と共有を

**小松 ひとみ** 議員 (13頁)  
龍泉洞入洞者数20万人の達成は  
自主的な活動に支援を

町ホームページで  
会議録が閲覧可能

議会会議録を  
町ホームページで公開  
しています。6月定例会分は8月下旬ごろに  
掲載予定です。  
町立図書館または役  
場各支所図書室では、  
会議録の写しが閲覧可  
能です。

ピーちゃんねっとで  
一般質問の動画を  
見ることが出来るよ!



### 議会を傍聴しませんか

次の定例会は、  
**9月11日(水) から**  
**9月20日(金) まで**  
を予定しています。

詳細は、ピーちゃんねっとでお知らせします。  
※都合により変更となる場合があります。

## 歴史民俗資料館の移設を 小川小学校は有用な候補

問 旧岩泉高等学校小川校にある歴史民俗資料館は、岩泉の歴史・民俗資料が多く展示されている。  
自然資料や地質・考古資料、南部曲り家をイメージした復元民家、民具の体験スペースもあり、見学者から好評を得ている。  
しかし、場所が分かりにくいこともあり、来館者が少ない。  
国道455号沿いで分かりやすい、閉校後の小川小学校に移設する考えはないか。  
答 館し展示物や建物のリニューアルを重ね、現在に至っている。  
入館者数の推移は、町内の小中学校の授業に施設見学を組み入れるなど、若干伸びているものの満足できる入館者数ではない。  
提案のあった閉校後の小川小学校校舎への移設は、寄贈などにより増え続けている歴史民俗資料への対応、国道455号からの良好なアクセスなどを考慮し、有用な候補地として考えている。  
広く地域の意向を十分に聴きながら検討を進める。

17文字の  
ひとりごと

閉校後も  
絆でつなぐ  
わが母校



問 安家地区には、簡易水道や組合などによる飲料水共同施設が整備されている。しかし、一軒家や隣の家との距離があるなど、整備に多額の費用を要するため未整備の場所もある。

## 飲料水個人施設補助の見直しを 合砂丈司 議員 現行の補助制度を継続していく 中居町長

町長 飲料水個人施設整備事業は、個人の水道施設の新設、増設、改良整備事業に対し、事業費200万円を上限に9割を補助するもので、平成28年度から実施している。本事業の実績は3件である。うち2件は井戸掘削を含めた工事

平成28年台風10号災害により、水道施設が被災し、水脈も変わるなどして飲料水の確保に難儀している人がいる。冬期間は水道管が凍り、河川の水を利用している人もいる。飲料水の確保は、住民生活最低限の基本である。新たな水源確保や水道管埋設には、多額の費用がかかる。専門的な技術の支援や水質検査も必要だ。平成28年台風災害の補助も含め、飲料水個人施設整備事業の補助上限額を増額するなど見直す考えはないか。

で、1件当たりの平均事業費は217万円であった。他の1件は、河川と道路の横断工事が必要な特別な工事であったことから、事業費が380万円と多額だったが、特別な工事を除いた額は173万円である。台風10号により被災した飲料水個人施設の復旧も別途補助金交付要綱を制定し支援している。本要綱も事業費200万円を上限に9割を補助している。事業の実績は、29年度が15件で平均事業費118万円。30年度は、13件で平均事業費162万円である。両事業とも補助金交付要綱の基準上限額と大差なく完了しているため、今後も現行の補助制度を継続していく。特殊なケースの場合には、利用者に寄り添い、専門的な技術指導や事業費の軽減化に向けた助言などを積極的に行う。



水道施設の整備が待たれる安家地区

17文字のひとりごと

災害の  
工事が完了  
心なごこむ



## ミート工房の再建整備を

### 課題を整理し再建を検討

中居町長

畠山和英 議員

問 先の台風で全壊したミート工房は、いまだに再建の方向性が示されていない。生産者や関係者は、いつ整備がされるのか注視している。

この施設は「いわいずみ短角牛」というブランドを通じて、産地と消費地をつなぐものでもある。地場産業の振興により、町の魅力を高め、PRにつなげていくためにも、早急に再建整備を図るべきだ。

町長 ミート工房を再建できないでいる理由は、牛肉の販売対策が非常に厳しく、施設を所有、経営していた(株)岩泉産業開発が、断念



素晴らしい環境で育つ いわいずみ短角牛

したためである。本施設は、町にも生産者にとっても必要なものである。6次産業化の取り組みを再構築していくには、頭数の

確保をはじめ、これまで取り組んできた課題を今一度整理する必要がある。その中でミート工房の再建を検討していく。

## 早急に土砂災害防止対策を 事業化に向けた要望をする

地区の「田代沢」と岩泉消防署裏の「ナイヨウ沢」は、今回の整備箇所に含まれていない。土砂災害を未然に防止するため、早急に対策を行うよう、県に要望すべきだ。

町長 「田代沢」と「ナイヨウ沢」は、台風10号により土砂災害が発生した場所である。土砂災害特別警戒区域にも指定されている。「田代沢」は、現在、県で事業化に向けて国と協議していると聞いている。

問 県では、台風豪雨災害をうけて、河川の大改修や土砂災害を防止する砂防ダム、治山ダムを計画し、順次整備している。しかしながら、大川

「ナイヨウ沢」などを含め、危険箇所の砂防対策や治山対策が必要な箇所は、優先順位を見定め、県に早急な調査、事業化に向けた要望活動を行っていく。

17文字のひとりごと

絶やすまい  
まちのブランド  
短角牛



問 就学援助は、所得による教育の格差をなくすための制度である。昨年の生活保護基準の見直しを受け、本年度から準要保護者の認定基準を変えている市町村もある。

# 就学援助の認定基準見直しを

## 林崎竟次郎 議員 係数を見直す準備をしている 三上教育長



子どもたちの成長はみんなの願い

本町の準要保護者の認定基準は、生活保護基準の1.0倍となっている。最低でも1.2倍にすべきだ。

この係数は、所得額の捉え方が各市町村一律ではない。町としても、所得による教育の格差をなくし困窮と認められる保護者に必要な援助を行うことは、子育て世代に対する重要な支援策の一つと認識している。現在、生活保護基準に対する係数とその他の対象基準項目について、見直しの準備を進めている。

問 台風災害からの復旧復興が最優先の中でも、これからの本町を背負って立つ世代への施策として、さらなる子育て支援を検討していかねければならない。子育て支援の課題をどの様に捉え、解決していくのか。

### 子育て支援の課題は効果的な計画を作る

町長 これまで、各種医療費助成をはじめ、こども園や保育所運営、スクールバスの運行、岩泉高校への通学費・部活動補助などの子育て支援施策を実施してきた。本年度は、小川放課後児童クラブの開設や

17文字のひとりごと

人は皆生まれ出より等しきなり



# キクイモで健康増進を

## 調査研究を行っていく

三田地久志 議員  
中居町長

問 学校保健会報によると「岩泉町における小学1年生、小学3年生から中学3年生までの学年で、肥満傾向児の出現割合は、全国平均と比べて大きく上回っている」とあった。大人に目を向けると脳卒中ワースト1から、なかなか抜け出せていない。

キクイモを推奨するには絶対量が不足である。増え続けている耕作放棄地を活用し、高齢者にキクイモを栽培させ、健康増進を図る考えはないか。

町長 学校保健会報では、子どもの肥満を問題提起している。町でも子どもの肥満を放置すると大人の肥満や生活習慣病に大きく影響すると認識している。

町では、野菜の摂取を進めるために、いろいろな対策を推奨している。これに付け加えたいものが「キクイモ」の摂取である。キクイモは、水溶性食物繊維イヌリンを多く含み、糖の吸収を抑えて血糖値の上昇抑制となることが医学的に証明されている。



秋には背丈が2倍にもなるキクイモ

本町の健康増進の取り組みは「自分の健康は自分で守る、家族で守る、職場で守る、地域で守る」をモットーにしている。保健推進員や食生活改善グループなどの協力を得ながら、各種検診、訪問指導、食育指導を実施している。キクイモの栽培振興は、高齢者などの所得の向上、耕作放棄地の



健康にいいと実証されているキクイモ

17文字のひとりごと

野菜摂れというからには検証を



# 放課後児童クラブの環境改善を

## 必要な場合は前向きに取り組む 坂本昇議員 中居町長

**問** いわいずみ放課後児童クラブは、利用者が50人を超えている状況である。スペースの拡大や支援員の執務室、健康回復スペースの設置など環境改善を図るべきだ。

**問** スポーツ少年団や総合型スポーツクラブに参加させたいが、共働きのため断念している人がいる。対応策はないか。

**教育長** スポーツ少年団体験入団の働きかけや岩泉スポーツクラブによる出前講座の情報提供などが考えられる。関係者と整理すべきことがあることから、研究・検討をしていく。

**町長** 放課後児童クラブは、就労などで放課後に保護者が家庭にいない児童に対し、適切な遊びや生活の場を与えることを目的としている。いわいずみ放課後児童クラブの専用面積は、131.85㎡で、町条例に定める基準を満たしている。環境改善を図る必要が生じた場合は、関係機関と協議を行い、前



まずは宿題を 放課後児童クラブ

## 総合相談窓口の設置と共有を 分かりやすい案内表示を工夫

**町長** 相談窓口が分かりにくい状況もあると思われる。町民課を総合的な案内窓口として積極的な声掛けと、時には来庁者の用件を「聞きだす」よう職員に心掛けさせている。その上で、担当課などへの案内や場合によっては職員が町民課の窓口に出向き対応するよう努めている。来庁者の意見に耳を傾け、より分かりやすい案内表示を設置するなど、創意工夫をしていく。

**問** 生活に関する多様な問題などを総合的に受け付け、相談しやすい部署の設置が必要だ。誰にでも分かりやすい相談窓口を設置し、住民との意識の共有を図るべきだ。

**問** 全町に分かりやすい看板設置を

**答** 計画的な設置に向けて協議する

17文字の  
ひとりごと

もう少し  
広げりやうれし  
支援室

## 龍泉洞入洞者数 20万人の達成は 小松ひとみ 議員 関係者一丸となり誘客に努める 中居町長



連休中多くの観光客でにぎわった龍泉洞

**町長** 10連休中の龍泉洞への入洞者数は、約4万人で、前年度と比較して約1万8千人の増となった。今後、入洞者数が前年度並みで推移した場合、19万人台が見込まれる。

**町長** 龍泉洞ならではの自然景観などの活用を配慮し、滞在時間の延長を意識した基本構想とする。

**問** 4月から5月の10連休は、観光や集客にとって、またとないチャンスだった。本年度の龍泉洞入洞者数20万人の目標達成は可能か。

**町長** 本年度は、県内で大型イベントの開催が多く予定されている。入洞者数20万人の目標が達成されるよう、関係者一丸となり誘客に努める。

**問** 本年度中に作成する龍泉洞園地の再整備基本構想の取り組み方や進め方を示せ。

**町長** 龍泉洞ならではの自然景観などの活用を配慮し、滞在時間の延長を意識した基本構想とする。

**町長** 龍泉洞ならではの自然景観などの活用を配慮し、滞在時間の延長を意識した基本構想とする。

## 自主的な活動に支援を 支援策を検討していく

**問** 一人一人の力を生かす地域とは、まちを愛する人を取り上げることと考える。

**町長** 「まちづくりは人づくり」とも言われている。自発的・自主的に活動している地域住民には、その活動に対する支援の必要性を感じている。

**問** 龍泉洞の経済効果の見込みは

**答** 20万人の場合約7億5千万円

17文字の  
ひとりごと

希望の芽  
拾い出すとき  
それは今

次は、常任委員会レポート



質疑のその後

# どうなりました... あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったのか追跡します。

ドローンによる大牛内地区の空撮  
撮影：ブルードラゴン隊 (※)

## 平成 25 年 9 月定例会

### 質問 大牛内地区の水道整備を

水道施設の経年劣化が激しい。営農飲雑用水として整備することで、畜産、酪農の規模拡大につながる。早期に整備すべきだ。

### 答弁 施設の増強更新に努める

施設の増強更新を念頭に置き、補助制度を模索しながら事業実施を検討する。

## 令和元年 6 月定例会

### 大牛内地区配水管更新事業として 2300 万円の補正予算を計上!

- 事業内容  
配水管更新工事と給水管接続工事、設計委託業務一式  
配水管更新…約 13.8 km  
給水管接続…約 2.0 km
- 事業費 6 億 5300 万円  
(設計委託費 2300 万円、工事費 6 億 3000 万円)
- 事業期間  
設計委託業務 令和元年度  
配水管更新工事など 令和 2 年度～4 年度
- 自己負担 1 世帯 10 万円 (地区全体 840 万円)
- 町補助金 6 億 4460 万円 (過疎対策事業債を予定)

## 平成 30 年 12 月定例会

### 質問 大牛内の水道整備の時期は

水道施設が、経年劣化で漏水が頻繁だ。整備の時期を示せ。

### 答弁 早い段階で整備計画を策定

水道施設を更新する場合、5 億円を超える多額の事業費となる。財源確保の目的を付けながら住民と協議し、できるだけ早い段階で整備計画を策定する。

### おしゃべりまの声

時々、断水があったり飲めない水が出てきたり困ってました。小さい子どもがいるので、安全安心な水が飲めるようになってうれしいです。



竹花かおりさん  
小本 (33 歳)

### おしゃべりまの声

整備に着手するのは、まだまだ先のことと思っていました。地区住民の悲願です。素早い対応に感謝しています。



阿部 佳史さん  
小本 (67 歳)

# 町の今を 見て⇄聴いて 生かす

常任委員会レポート

## 産業常任委員会

### ワサビ栽培と高性能林業機械の現状を調査

5月22日、大牛内地区のワサビ栽培と二升石地区での高性能林業機械の稼働状況を調査しました。  
大牛内地区のワサビ栽培は、地形の特性上、平地で栽培ができる好条件でした。  
高性能林業機械は、町の補助事業で整備したものの、女性オペレーターが操作し、効率よく仕事をしていました。



林間でのワサビ栽培

### 委員長の思い

ワサビ栽培は、種子確保に苦勞しているとのこと。町が、種子確保と育苗の技術向上などを進める必要があると感じた。  
高性能林業機械の導入は、作業効率が向上しているとのこと、補助事業の効果がある。  
県の林業アカデミー研修の受講に、町は支援する必要があるのでは。(産業常任委員長 三田地久志)



1人のオペレーターで数種類の作業が可能なプロセッサ

## 総務常任委員会

### 放課後児童クラブの現状を調査

5月23日、いわいずみ放課後児童クラブと小川放課後児童クラブの現状を調査しました。  
いわいずみ放課後児童クラブでは、支援員から概要や現状の説明を受け、1年生の利用状況を視察しました。  
小川放課後児童クラブは、本年度からスタートしています。利用児童の様子を見学しました。



いわいずみ放課後児童クラブの現状を聴く

### 委員長の思い

両クラブの利用児童数からするとスペースが手狭で、支援員の執務室や保健室のようなスペースの確保も必要と感じた。  
昨今のいじめ、虐待の報道を見るたびに、子育ての大切さや難しさを痛感している。  
児童クラブの適正な運営が続けられるよう引き続き支援が必要だ。(総務常任委員長 坂本昇)



「ただいま」の声は家と一緒にです

(※) 平成30年11月1日に発足した、役場と消防署職員6人によるドローン運用隊。災害時や鳥獣対策に活用するため、毎月操作訓練を実施しています。

次は、おしえて野球っ子の声





試合でピッチャーをするときはコントロールを重視しています。チームの全国大会出場が目標です。

プロ野球イースタン・リーグの試合では、プロ選手のホームランを見てみたいです。



岩泉小学校(6年)  
のぞみ  
島山 希望さん



門小学校(6年)  
ななせ  
立花 七星君

普段の練習ではバッティングフォーム、守備姿勢に気を付けています。全国大会に出場して優勝することを目標にがんばっています。

楽天の試合では、プロ野球選手のプレーを観るのが楽しみです。



龍泉洞Jスターズ

# おしえて 野球っ子の声

8月12日(月)に、楽天イーグルス岩泉球場でプロ野球イースタン・リーグ公式戦「楽天対巨人」が開催されることが決定し、野球に一生懸命取り組んでいる子どもたちの声を聴いてきました。

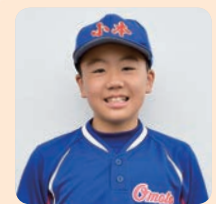


小本野球スポーツ少年団

キャプテンとしてチームを引っ張っていくことと、ピッチングとバッティング練習をがんばっています。プロ野球の試合を見に行くことを楽しみにしています。ホームランを打ってくれたらうれしいです。



小本小学校(6年)  
えいと  
片山英生翔君



小本小学校(6年)  
そうすけ  
金澤 颯介君

ピッチングや声を出すことをがんばっています。チームの目標は県大会1勝です。プロ野球選手のホームランやピッチャーが三振を取るところを見たいです。すごく楽しみにしています。

## 広報広聴常任委員会

委員長	八重樫 龍介
副委員長	小松 ひとみ
委員	野館 泰喜
委員	三田地 久志
委員	畠山 昌典
委員	畠山 英典

広報広聴常任副委員長  
小松ひとみ

## 編集後記

▽新しい年号が「令和」になりました。「令」を「うるわしい」と読む解釈もあるようです。今ある平和な世の中をより美しいものとして築き上げていこうとする働きかけが「令和」です。英語は「ビューティフル・ハーモニー」美しい調和」と表現します。▽あちこちで復旧工事が進んでいます。「美しい自然を取り戻す」という町の目標に向けて、次への明るい希望を見つければ、課題を掘り下げ、きめ細かい心遣いのある町政であるよう、議会ではもっとと広く意見を集め、考え、行動していきます。



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一岡伐に寄与した紙」を使用しています。